

# 「中小企業の景況感に関する調査」集計結果

【略称：東商けいきょう】

平成19年4～6月期

## 【今回調査のポイント】

中小企業の景況感は総じて悪化に転じ、回復の足どりは重い。(1ページ参照)

○調査項目	1. 業況	: 1ページ
	2. 売上	: 3ページ
	3. 採算（経常利益）	: 5ページ
	4. 資金繰り	: 7ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9ページ

## 【調査の概要】

○調査期間：平成19年5月31日～6月6日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,218社

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：866社（回答率39.0%）

※有効回答企業の業種別構成

- |                   |                     |                   |
|-------------------|---------------------|-------------------|
| ・製造業 235社 (27.1%) | ・建設業 117社 (13.5%)   | ・小売業 168社 (19.4%) |
| ・卸売業 143社 (16.5%) | ・サービス業 203社 (23.4%) |                   |

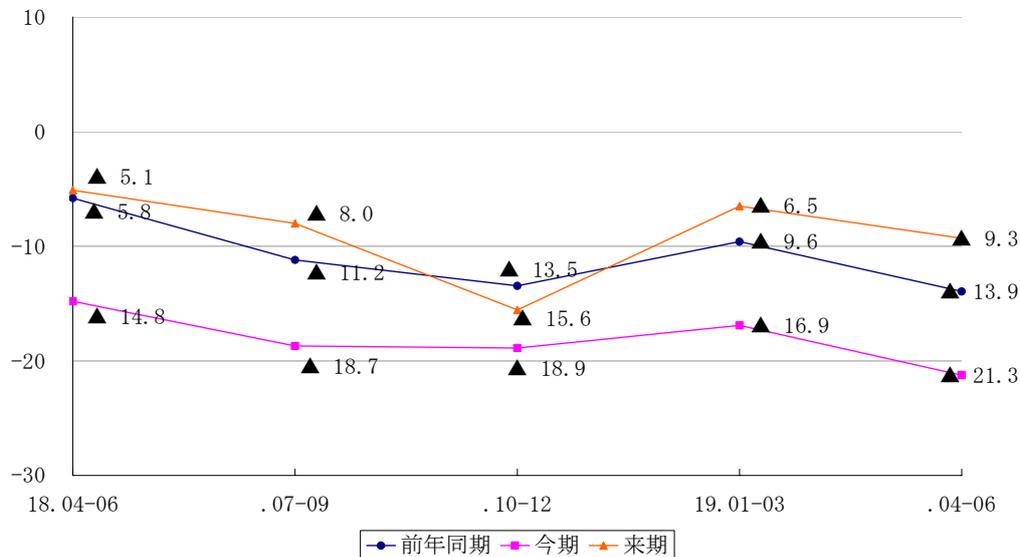
平成19年7月12日

東京商工会議所 中小企業部

# 1. 業況

○「業況DI」は、全業種で見ると前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも悪化に転じている。

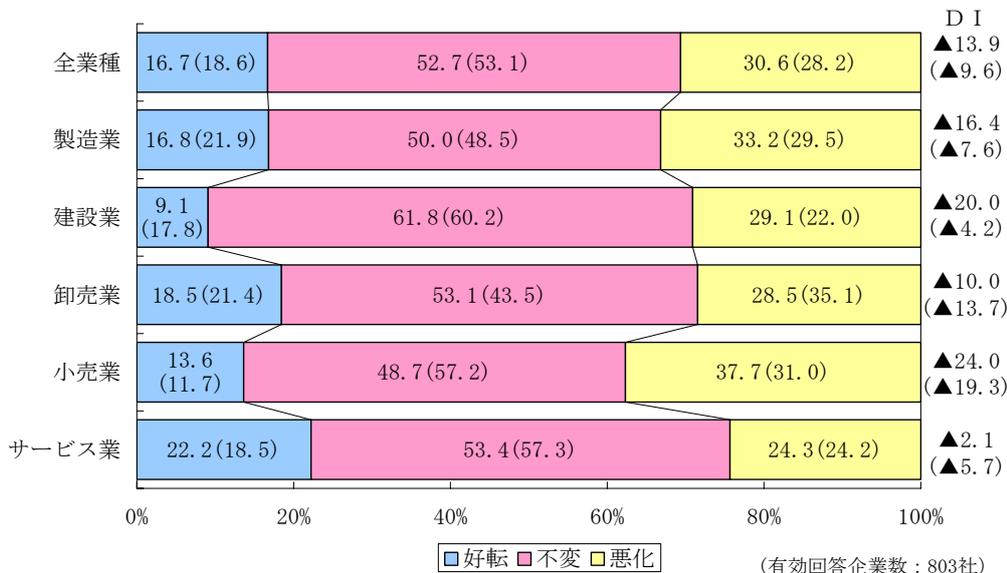
業況DIの推移（全業種）



・「業況DI」は、全業種で見ると前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも悪化に転じている。

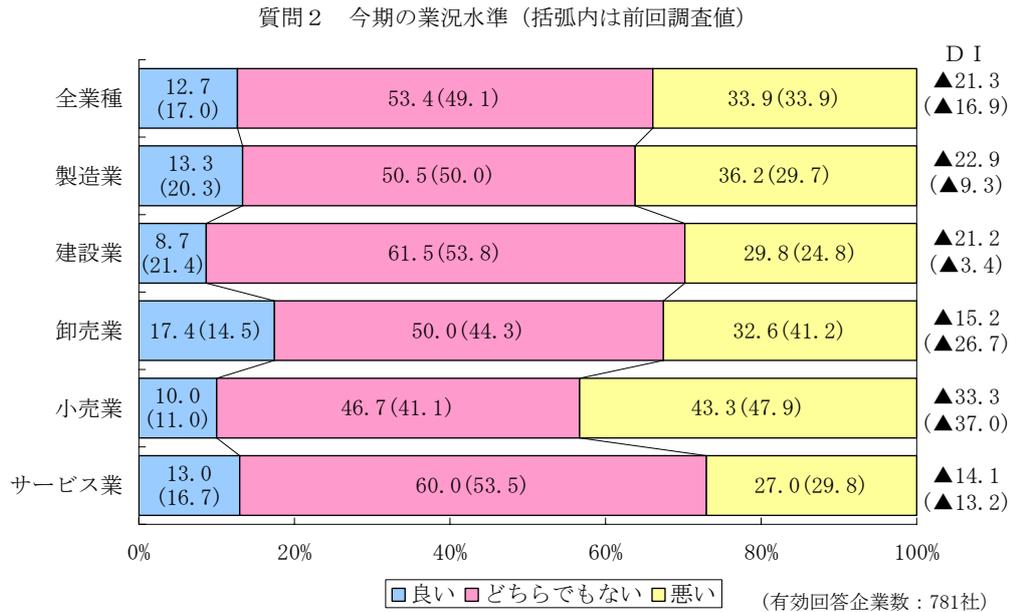
【質問1】前年同期（平成18年4～6月期）と比べた今期（平成19年4～6月期）の業況（自社）はどうか。

質問1 前年同期と比べた今期の業況（括弧内は前回調査値）



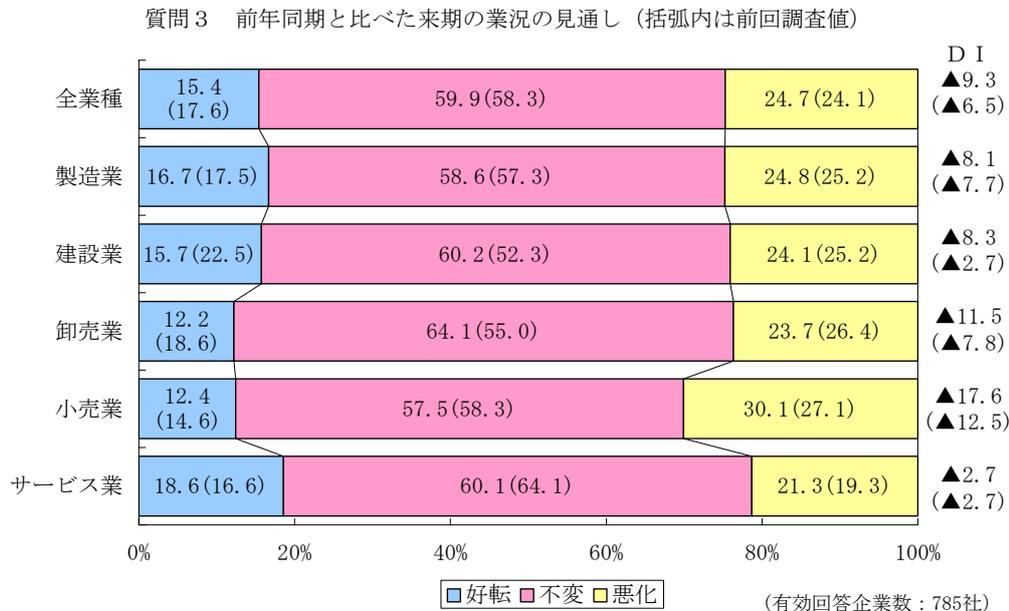
- ・「前年同期と比べた今期の業況DI」は全業種で見ると、前回調査から4.3ポイント悪化し、▲13.9となった。
- ・業種別では、前回改善に向かった製造業、建設業、小売業、サービス業のうち、サービス業を除く3業種が悪化に転じている。

【質問2】 今期（平成19年4～6月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・「今期の業況水準 DI」は、全業種で見ると前回調査では若干の改善傾向がみられたが、今回は4.4ポイントの悪化となった。
- ・業種別では、製造業と建設業において前回は持ち直しの動きがみられたものの、今回は前回より10ポイント以上のマイナスとなっている。

【質問3】 前年同期（平成18年7～9月期）と比べた来期（平成19年7～9月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

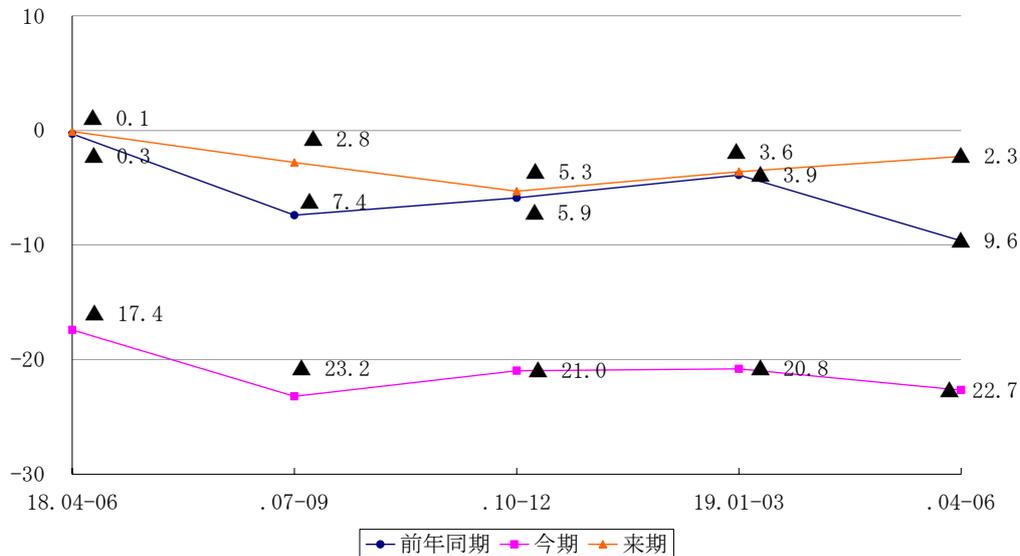


- ・「前年同期と比べた来期の業況の見通し DI」は、前回調査で若干の持ち直しの動きがみられたものの、今回は2.8ポイント悪化しており、業況の回復は慎重な見方となっている。
- ・業種別では、前回より5ポイント以上のマイナスがみられる建設業と小売業をはじめ、全業種で悪化に転じている。

## 2. 売上

○「今期の売上水準 DI」は全業種で見ると 2 期連続の悪化となり、▲20 前後で停滞が続いている。

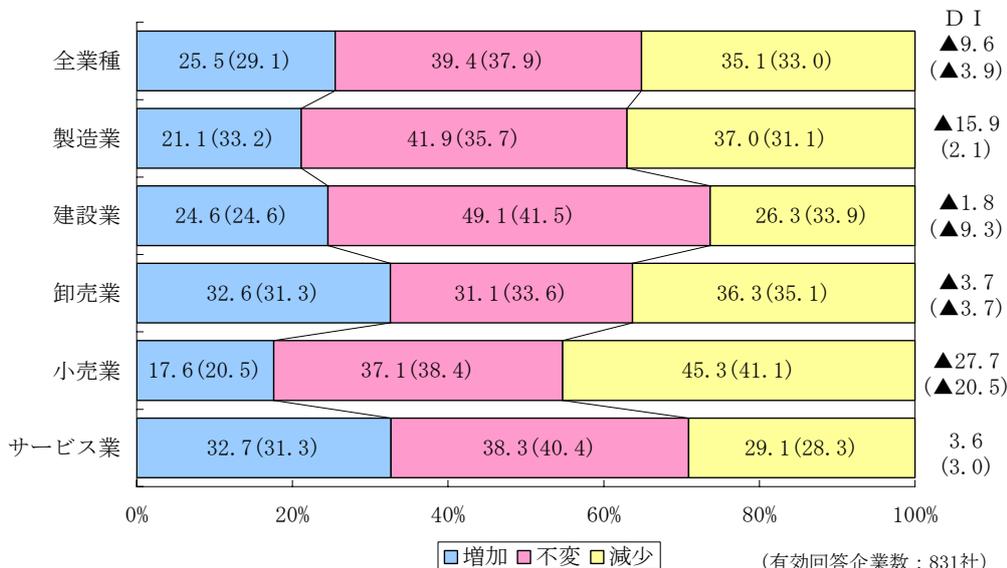
売上DIの推移(全業種)



- ・「売上DI」は、全業種で見ると「前年同期と比べた来期の見通し」において2期連続の改善傾向となったが、前年同期比と今期水準は悪化した。

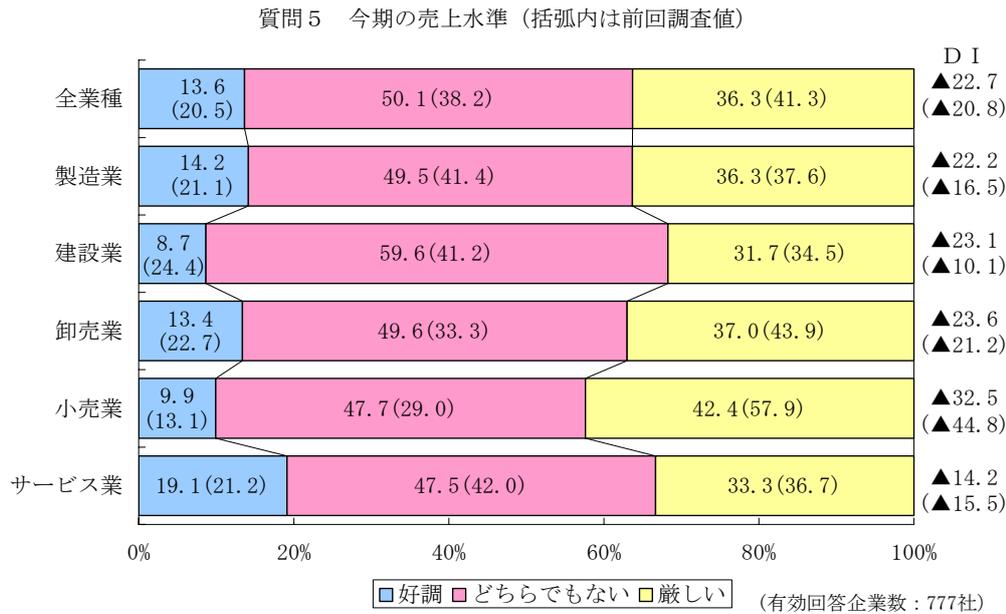
【質問4】前年同期（平成18年4～6月期）と比べた今期（平成19年4～6月期）の売上状況はどうか。

質問4 前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前回調査値）



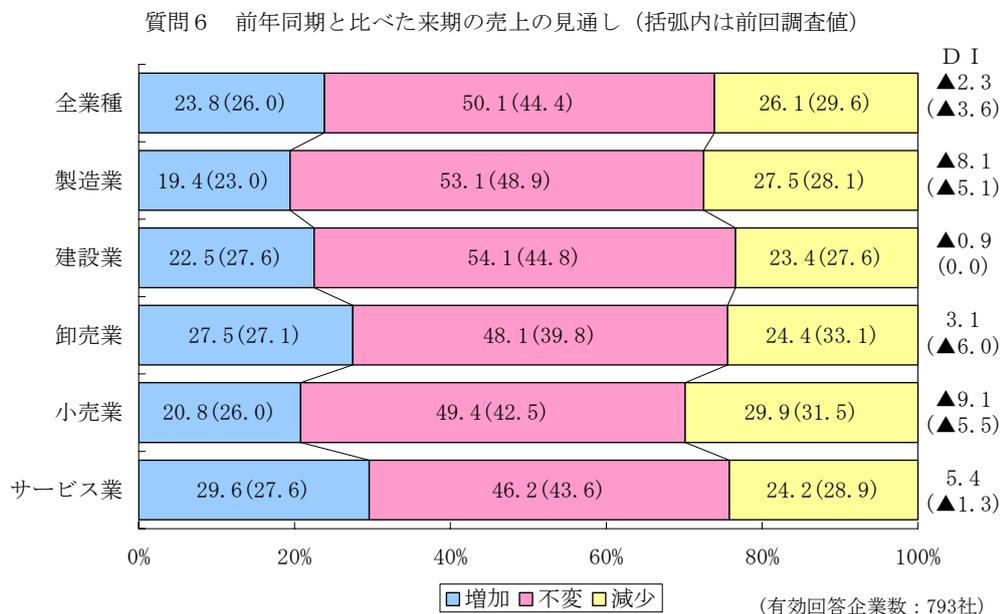
- ・「前年同期と比べた今期の売上状況DI」は、全業種で見ると2期続けての改善から悪化に転じており、▲9.6となった。
- ・業種別では、製造業において▲15.9まで落ち込み、直近5期の中で最低の値となった。

【質問5】 今期（平成19年4～6月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・「今期の売上水準DI」は全業種で見ると2期連続の悪化となり、▲20前後で停滞が続いている。
- ・業種別では、サービス業と小売業を除く3業種は悪化傾向にある。小売業は一進一退の動きをみせており、今回調査では▲32.5と、厳しい状況が続いている。

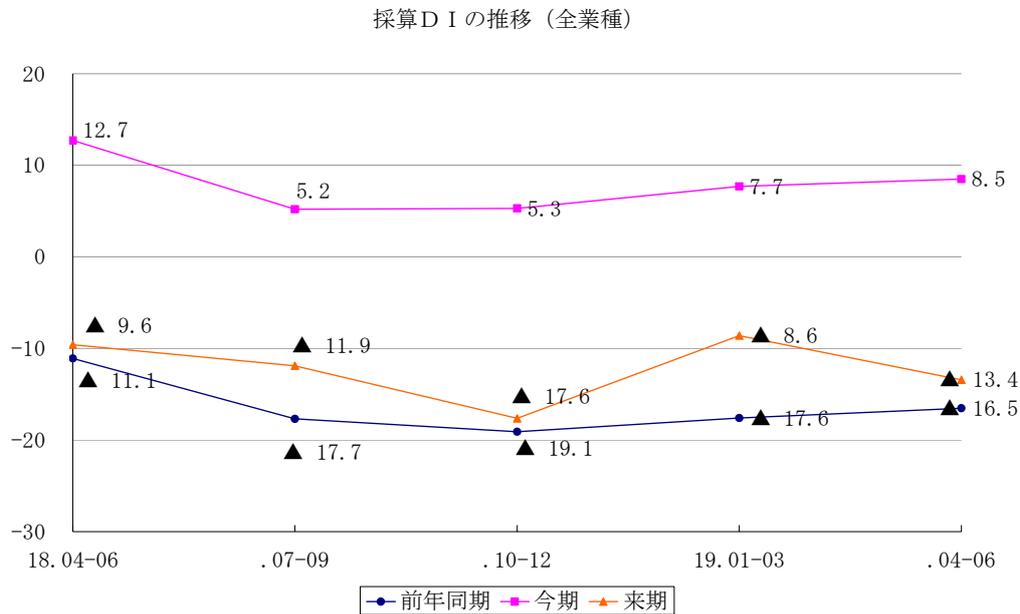
【質問6】 前年同期（平成18年7～9月期）と比べた来期（平成19年7～9月期）の売上の見通しはどうか。



- ・「前年同期と比べた来期の売上の見通し DI」は全業種で見ると、2期続けて改善傾向がみられるものの、▲2.3となった。
- ・業種別では、前回調査よりサービス業で6.7ポイント、卸売業で9.1ポイント改善しているが、他の3業種では悪化に転じており、業種間での明暗が鮮明となっている。

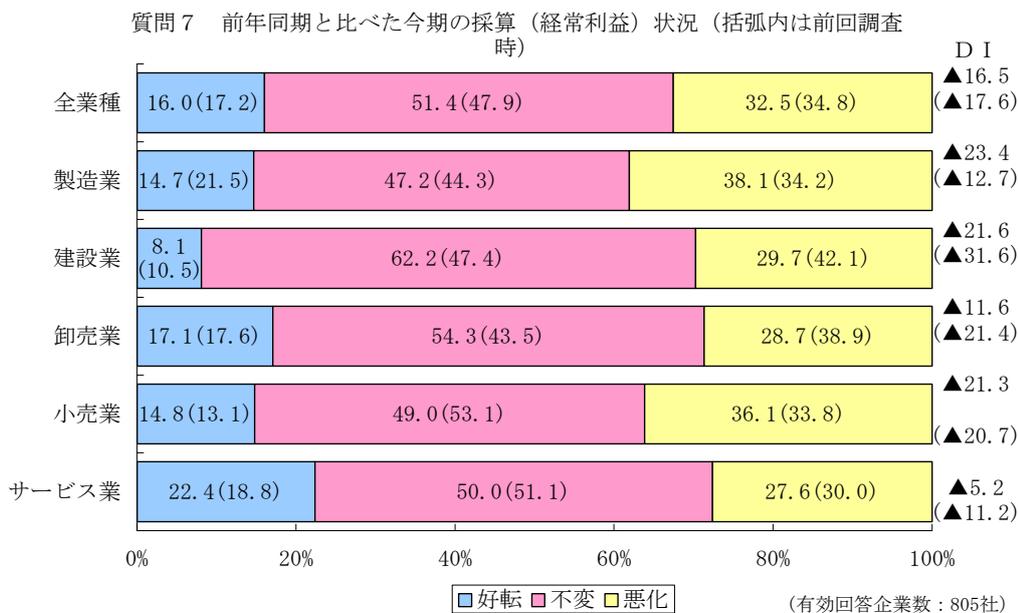
### 3. 採算（経常利益）

○「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は全業種で見ると、前回調査で持ち直しの動きがみられたが、今回は4.8ポイントの悪化となり▲13.4となった。



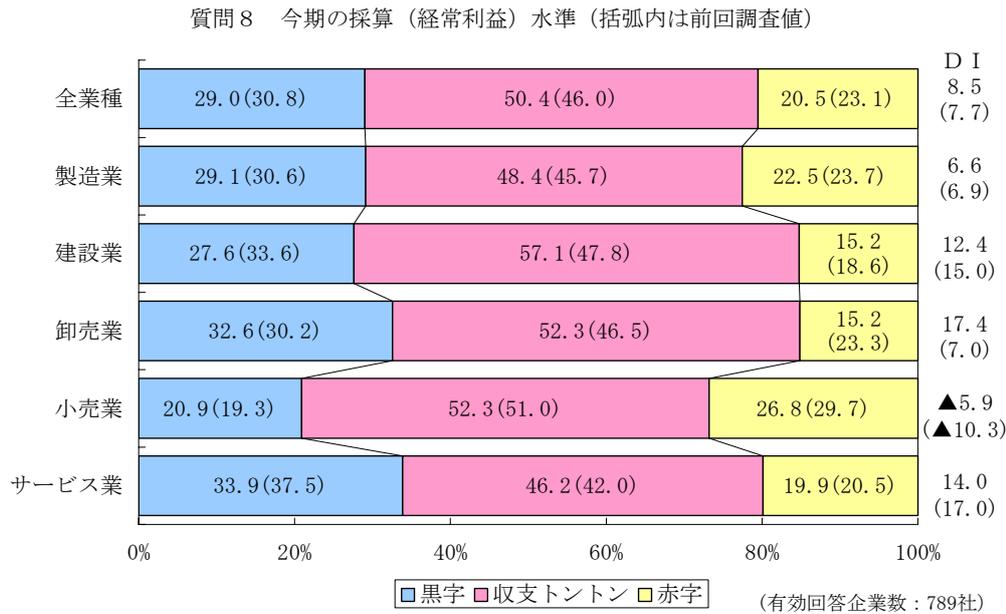
- ・「採算DI」は、今期水準は3期連続、前年同期比は2期連続で若干の改善がみられるが、来期見通しは4.8ポイントの悪化となった。

【質問7】前年同期（平成18年4～6月期）と比べた今期（平成19年4～6月期）の採算（経常利益）状況はどうか。



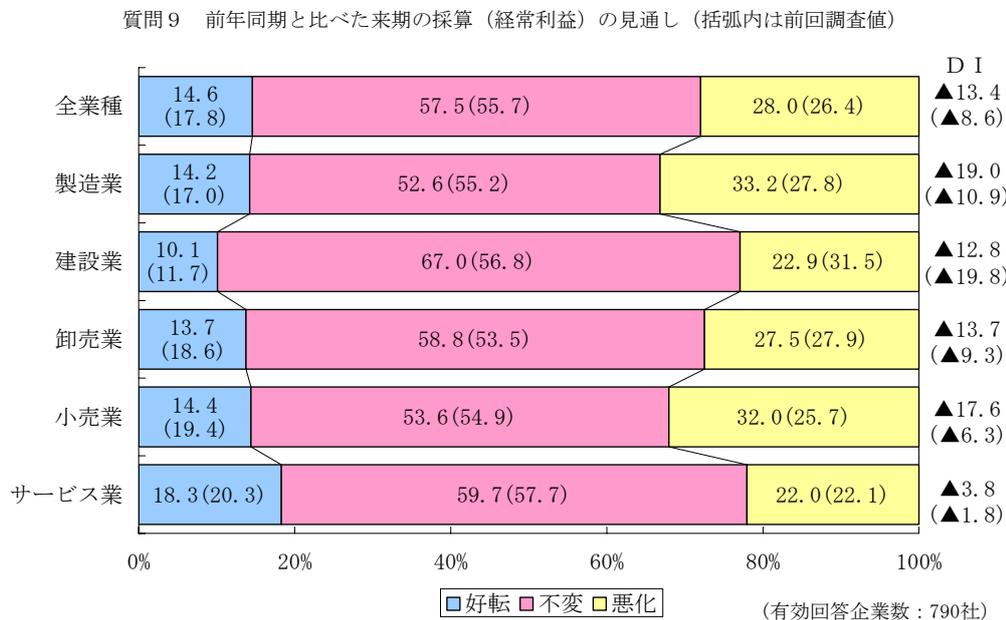
- ・「前年同期と比べた今期の採算DI」は全業種で見ると、2期続けての改善となり、▲16.5となった。
- ・業種別では、建設業、卸売業、サービス業において前回調査での落ち込みから改善に転じたが、製造業は大きく悪化に転じ、▲23.4となった。

【質問8】 今期（平成19年4～6月）の採算（経常利益）水準はどうですか。



- ・「今期の採算水準DI」は、全業種で見ると8.5となり、3期続けての改善となった。
- ・業種別では、卸売業は10.4ポイント、小売業は4.4ポイントの改善がみられるが、他の3業種はプラス幅を縮小している。

【質問9】 前年同期（平成18年7～9月期）と比べた来期（平成19年7～9月期）の採算（経常利益）の見通しはどうですか。

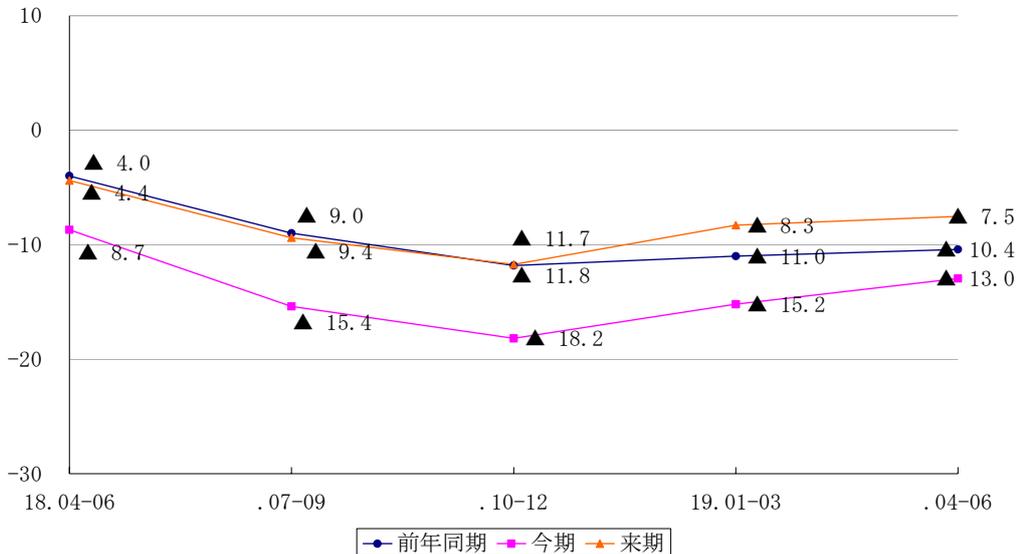


- ・「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は全業種で見ると、前回調査で持ち直しの動きがみられたが、今回は4.8ポイントの悪化となり▲13.4となった。
- ・業種別では、建設業で回復傾向がみられるが、他の4業種では前回の持ち直しの動きから悪化に転じている。

## 4. 資金繰り

○「前年同期と比べた今期の資金繰りDI」は、全業種で見ると2期連続の回復で▲10.4となった。

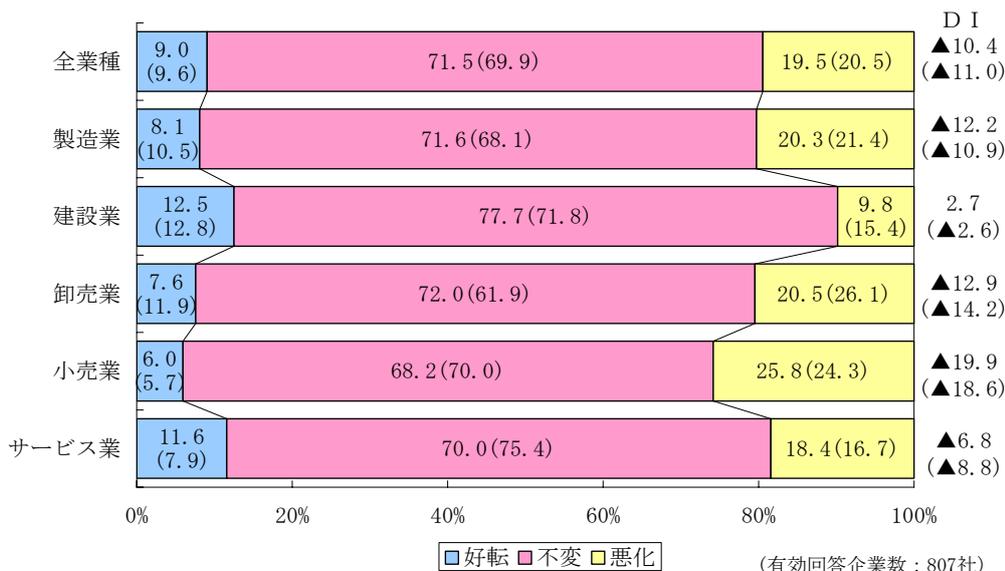
資金繰りDIの推移（全業種）



- ・「資金繰りDI」は、全業種で見ると前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも若干ではあるが2期続けてマイナス幅を縮小している。

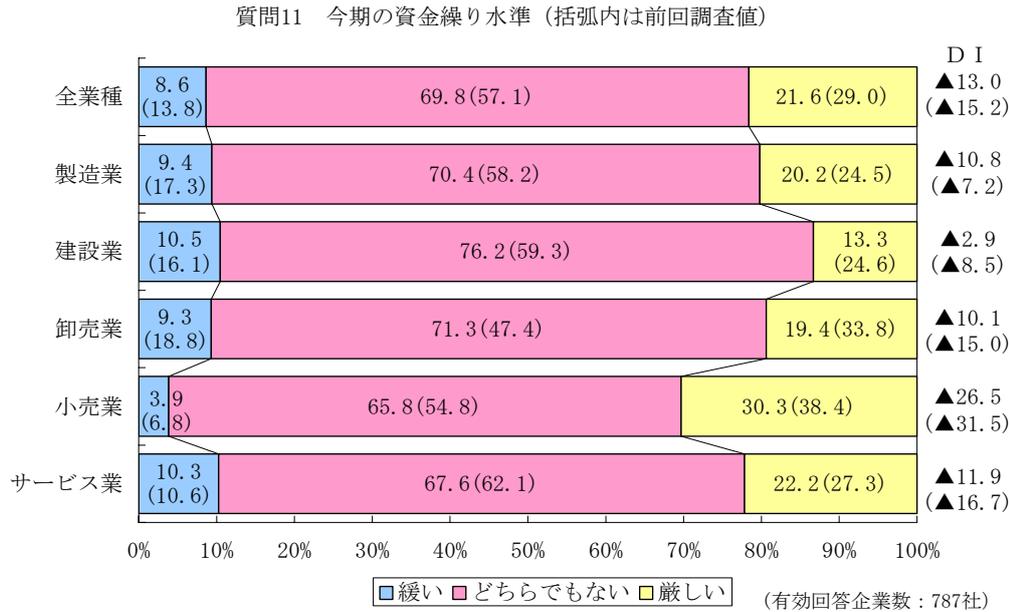
【質問10】前年同期（平成18年4～6月期）と比べた今期（平成19年4～6月期）の資金繰り状況はどうか。

質問10 前年同期と比べた今期の資金繰り状況（括弧内は前回調査値）



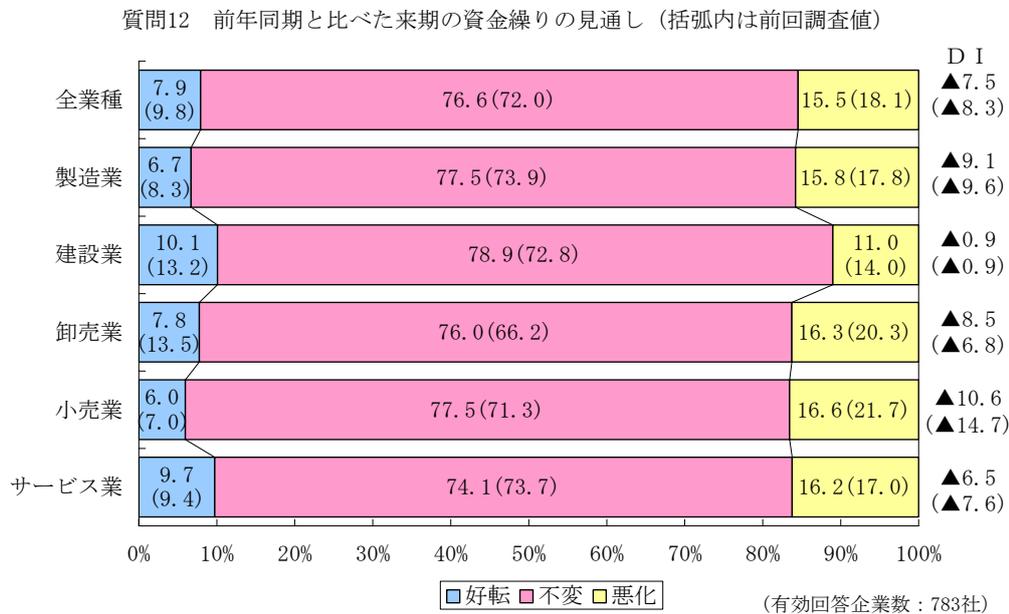
- ・「前年同期と比べた今期の資金繰りDI」は、全業種で見ると2期連続の回復で▲10.4となった。
- ・業種別では建設業のみ、4期前の水準に回復してきたが、他の4業種ではいまだ厳しい停滞感が続いている。

【質問 1 1】 今期（平成 19 年 4～6 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・「今期の資金繰り水準DI」は、全業種で見ると2期連続でマイナス幅を縮小しているものの、▲13.0と厳しい停滞感が続いている。
- ・業種別では、製造業は3.6ポイント悪化し、▲10.8となったが、その他4業種では5ポイント前後の改善がみられる。

【質問 1 2】 前年同期（平成 18 年 7～9 月期）と比べた来期（平成 19 年 7～9 月期）の資金繰りの見通しはどうか。

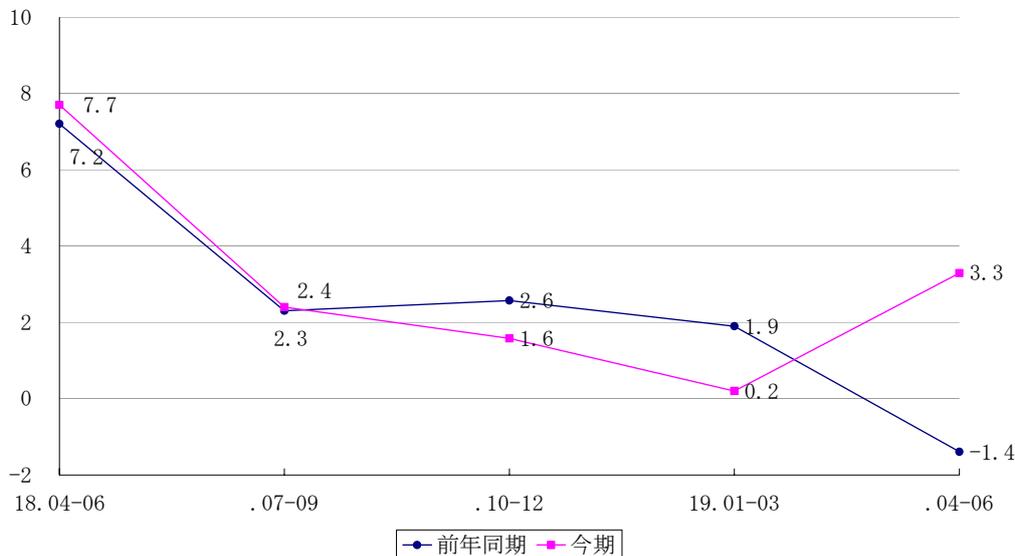


- ・「前年同期と比べた来期の資金繰り見通しDI」は、全業種で見ると2期連続の改善となるものの、改善幅は小さい。
- ・業種別では、小売業で改善がみられるものの、他の業種では前回調査時から横ばいとなった。

## 5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は、全業種で見ると4期連続のプラスからマイナスに転じ、▲1.4となった。

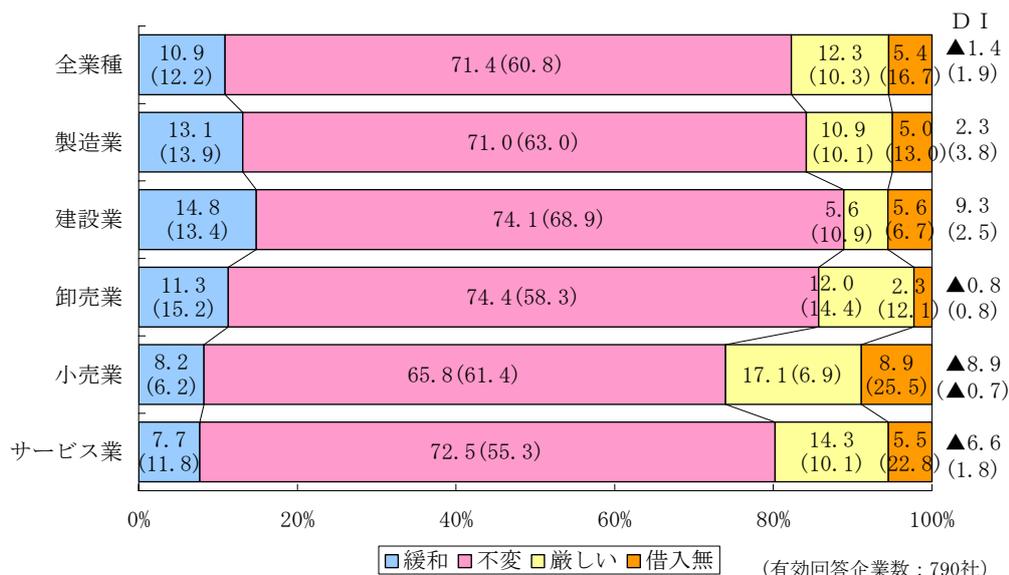
貸出姿勢DIの推移（全業種）



- ・「民間金融機関の貸出姿勢DI」は全業種で見ると、今期水準は3期連続の悪化傾向から改善に転じたが、前年同期比は直近5期の中で初めてマイナスに転じた。

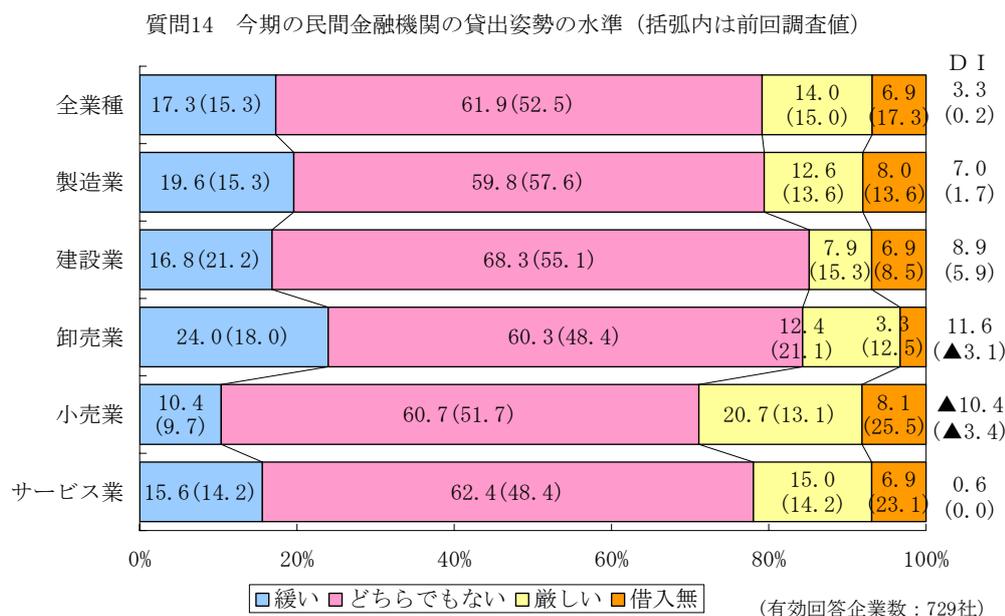
【質問13】今期（平成19年4～6月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、前年同期（平成18年4～6月期）と比べて変化がありましたか。

質問13 前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢（括弧内は前回調査値）



- ・「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は、全業種で見ると4期連続のプラスからマイナスに転じ、▲1.4となった。
- ・業種別では、建設業において改善に転じたが、他の4業種では悪化に転じている。とくにサービス業では8.4ポイント、小売業では9.6ポイント悪化している。

【質問14】 今期（平成19年4～6月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・「今期の民間金融機関の貸出姿勢の水準 DI」は、全業種で見ると3期連続の悪化傾向から改善に転じ、3.3となった。
- ・業種別では、小売業において7ポイント悪化し、▲10.4となったが他の4業種は改善に転じた。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「厳しい」「赤字」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前回調査とは、平成19年1月～3月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。